

# シニア働き方改善プロジェクト発足

— 年齢に関わらず、安心して長く働ける職場を目指して —

当社では、年齢を重ねても安心して働き続けられる職場づくりを大切にしています。その取り組みの一つが、「シニア働き方改善プロジェクト」です。

このプロジェクトは、58歳以上の従業員全員が参加し、日常業務の中で感じている困りごとや、今後想定される課題を、自らが改善していく取り組みです。

近年、加齢に伴う視力・聴力・体力の変化により、業務とのギャップが少しずつ顕在化しています。当社では、こうした変化への対応を個人に委ねるのではなく、会社として、働き方や環境を見直すことが重要であると考え、本プロジェクトを発足させました。

活動のキーワードは、「軽く・薄く・短く・小さく」。

業務の中に潜む負担を一つひとつ見直し、日常の業務で生じる身体的・心理的な負担をできるだけ小さくすることで、従業員一人ひとりが安全に働き続けられる職場環境を目指します。

- ・文字が見えにくいという声を受けた大型モニターの導入(2画面化)
  - ・工場・事務所内での 転倒防止対策(床面補修、滑り止め、安全靴の見直し)
  - ・照明・空調・音環境の改善(例えばクレーン運転席)
  - ・作業手順の簡素化、作業標準の動画化・DX 推進
  - ・安全体力測定の実施や、集中力維持に向けた取り組み
- など、従業員から挙げた意見を元に、すでに多くの改善を推進しています。

また、シニア従業員自身が主体となり、改善を進めることで、世代を超えたコミュニケーション活性化といった効果も生まれています。

当社は今後も、一人ひとりの従業員が安心して力を発揮できる職場を目指し、シニア働き方改善プロジェクトを継続してまいります。

以上



腰痛防止の観点から  
バランスボールを試行